

暑中お見舞い



申し上げます

まきばでひるやすみ



夏は好きですか。私は大の苦手です。夏生まれだけれど夏が愛せません。でも子どもの頃はそんなことなかったのかも... 夏にまつわる思い出はどれもキュンと郷愁を覚える愛しいものです。夏休みの全て(宿題を除く)のことがすごく好きだった気がするし、その思い出のほとんどは和歌山のおじいちゃんおばあちゃんの家の風景なのです。この絵はその大好きな縁側と庭です。朝からにぎやかなセミ。セミを入れたビンを落として割って泣いたこと。近所の海まで泳ぎに行き真黒ベタベタになって帰る道。ホースで水浴び。近所の店で買うプラスチックカップのかき氷アイスを皆で食べる昼下がりに。大きな下駄をカラカラ言わせてお散歩。夜の花火。祭りの太鼓の音... あらゆる夏の風景をくっきり思い出せます。子ども達の夏の思い出もくっきり楽しいものだといいなあ。